中山間地域における拠点・交通・コミュニティの組み合わせに関する検討と実践

中山間地域の暮らしを支える交通再編・コトづくりに関するJARIの取組み

□ 関連プロジェクト：

SIP第3期「スマートモビリティプラットフォームの構築」(2023~2027)
国交省「共創モデル実証プロジェクト」(2023),「共創・MaaS実証プロジェクト」(2024)

SiP 戦略的イノベーション創造プログラム

□ 中山間地域の現状

暮らしを支えるサービスの縮小と自家用車への依存

人口減少（過疎化）
→ 生活サービス等の維持に必要な規模の需要確保が困難
　→ 行政・事業者はカバーエリアを拡大
　→ 移動時間の伸長に伴うコスト増、サービス撤退等が発生
　→ 自家用車に対する依存が増加

コミュニティ活動の持続性低下

人口減少（過疎化）
→ 従来単位での活動継続が困難
　→ 活動範囲が広範囲化するが、高齢化で移動が困難に
→ 地域内の移動目的地が減少
　→ 移動の必要性・目的が失われる

地域づくりを含めた公共交通の再構築が必要

□ SIP第３期スマートモビリティプラットフォームの構築採択テーマ名

「移動手段の手当てが地域作り・活動に与える福祉的効果の検証」

（共同提案者：医療経済研究機構 (IHEP)※）
※:2025年度より日本能率協会総合研究所 (JMAR) に権利義務譲渡

□ 目的

➢ **地域交通のリ・デザイン**
　✓ 地域の活動や生活に寄り添ったサービスの実現

➢ **モビリティに関する価値の可視化**
　✓「移動量」だけでなく、福祉的な要素を含めた可視化

→ **得られた知見を他地域へ横展開可能となるように体系化**

□ 実施内容

1. 地域住民を巻き込んだ協力体制の構築
2. まちづくりやコミュニティ活動を継続可能にする新しい移動手段の検討
3. 公共交通を含む地域全体における移動手段の再構築

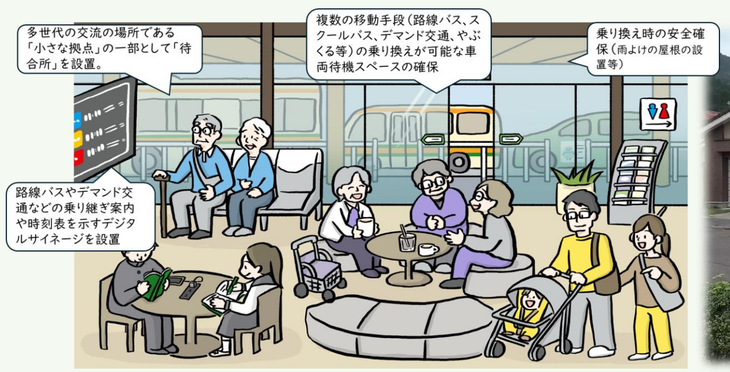
2地域におけるJARIの主な取組み

□ 兵庫県養父市関宮地域（旧関宮町）

➢ **「小さな拠点※」を中心とした地域づくり**
　→ 生活サービスと地域の持続性向上

関宮地域 約3000人 約1300世帯（R5.2現在）

関宮小さな拠点コンセプトイラスト
出典URL：https://www.projectdesign.jp/articles/3b36f442-7b6d-4eae-83c9-f6695a24f6b6



小さな拠点における交通ターミナル機能のイメージ図

関宮地域局からの利用風景

□ デマンド交通実証実験

デマンド交通を運行することで、「小さな拠点」を中心とした移動について住民が考える機会を創出する

1回目の実証実験：2023.10.27～11.5

- 住民組織と協力し、約140カ所の乗降地点を設定
- 関宮地域（4校区：人口約3千人）でセミ／フルデマンド交通を1週間ずつ運行
- 4校区ごとに利用日を設定し、車両を5台用意して実施
- 予約方法は電話のみ
- 利用者はセミ：**98**人、フル：**278**人（いずれも延べ人数）
- 買物便や病院便（診療所と連携して診察とデマンド交通の同時予約）を運行

2回目の実証実験：2024.10.26～12.1

- 1回目とほぼ同じ約140カ所の乗降地点を設定
- 関宮地域4校区全体で、車両を2台に減らしてフルデマンド交通を実施
（※ 1回目よりも実運用に近い体制での検証）
- 予約方法は電話と**LINE**
- 利用者：**233**人（いずれも延べ人数）

過去2回の実証実験は無料で実施
→本格的な社会実装に向けて、2025年度に**有償実証実験**を行う予定

□ 高知県仁淀川町　約4600人 約2700世帯（R6.4現在）

➢ **コトづくりとそれを支える移動手段の取組み**
　✓ 住民主体のフレイル（虚弱）予防活動の輪が拡大
　✓ 一方で、険しい地形の仁淀川町では参加が難しい人も少なくない
　→ フレイル予防活動を支援する住民共助の輸送（グリスロ・EVトゥクトゥクの活用）
　✓ "**楽しい**"体験のためのおでかけの移動手段として軽EV（ハツラッツ号）を貸与

➢ **コミュニティの持続・再形成を促すマイクロ拠点**
　✓ 手作りの料理などを持ち寄る「共食の場」が "**楽しみ**" "**生き甲斐**"に
　→ 誰かの庭先にみんなが集い、そこがマイクロ拠点となる様な取組みを支援（予定）

おでかけ、コミュニティへの参加をあきらめない仕組み作りを推進し、
公共交通の利用と再構築に向けた議論の足掛かりに

住民のコトづくりをきっかけに移動手段について考える機運が高まっている

フレイル予防活動風景

仁淀川町で活躍するハツラッツ号
(SIP事業で導入)

2024.11.11～12.9で旧池川町で試験走行したグリスロ

2024.11.15～12.6で仁淀川町で試験走行したEVトゥクトゥク

本資料には、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期／スマートモビリティプラットフォームの構築」（研究推進法人：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）(NEDO管理番号：JPNP23023)の成果が含まれています。